

本県の最高顧問を長くお務めいただいた梅原猛先生が、平成31年1月12日に御逝去されました。
 謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心より御冥福をお祈りいたします。
 日本平山頂の石碑に記された「草木国土悉皆成仏 国土は富士なり」の梅原先生のお言葉を胸に刻み、
 今後も富国有徳の美しい“ふじのくに”づくりを推進してまいります。



うめ はら たけし
梅原 猛氏

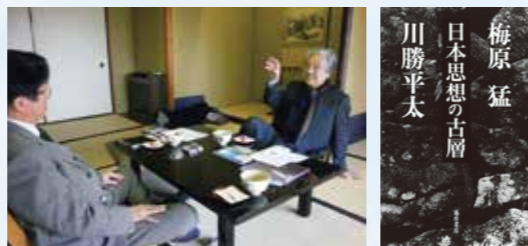
富国有徳の美しい“ふじのくに”づくりリーディングアドバイザー 最高顧問
 「富士の国」づくり推進会議 最高顧問

梅原猛先生と“ふじのくに”静岡県

平成23年2月23日
 富士見の祭典ふじのくにフォーラムにおいて基調講演
 演題：「富士と日本文化」
※後に「富士山を語る」として書籍化(毎日新聞出版・現在は販売しておりません)



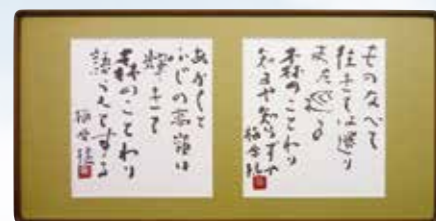
平成25年2月17日・平成27年9月26日
 川勝知事と対談(写真提供:株式会社藤原書店)
※後に「日本思想の古層」として書籍化(藤原書店)
 対談の一部を「ふじのくに」第30号に掲載



平成26年6月22日
 富士山世界文化遺産登録1周年記念式典において基調講演
 演題：「日本文化の使命と富士」



平成27年6月22日
 梅原氏の揮毫による石碑(静岡経済同友会より寄附)を
 日本平山頂に設置



川勝知事に贈られた梅原先生直筆の色紙
 (右)「ものなべて 往きては還り また巡る 森のことわり 知るや知らずや」
 平成3年の歌会始で召人を務められた時の歌
 (左)「あかあかと ふじの高嶺は 輝きて 森のことわり 語らんとする」

梅原猛先生を悼む

2018年11月2日、富士山を見上げ、静岡市を見下ろす日本平山頂に静岡県と静岡市の共同の建設になる「日本平夢テラス」の開所式が挙行されました。富士山と駿河湾をめぐる風景がこんなに一望できるのかと思うほどの展望の美しさです。

日本平山頂の開発は川勝平太静岡県知事の夢でした。秦河勝の子孫である川勝平太知事は先祖が開発したこの久能山を開発するために静岡県の知事になられたのかもしれませんが。富士山にあこがれられた中曽根康弘元総理と富士の国づくり推進会議の顧問を長く務められ、富士山に初めて登ったと言われる聖徳太子を描かれた梅原猛先生の揮毫になる石碑のあいだには、富士山が美しく輝いて見えます(詳しくは拙書「人類一万年の文明論」*1参照)。やっと川勝平太知事が目指されたことを、静岡県民も理解されはじめたのではないかと思います。

ここまで来るのに、じつに9年近くがかかりました。私の役割ももうぼちぼち終わりに近いでしょう。梅原猛先生が「安田と川勝がいたらなんでもできるな」と言われましたが、それでも9年かかりました。

その梅原猛先生が2019年1月12日に亡くなりました。私は梅原猛先生に育てられたようなものです。国際日本文化研究センターで長江文明を研究したのも、「静岡県の知事になった川勝知事を助けるように」と言われ静岡県に来たのも梅原猛先生のご命令でした。私は梅原猛先生に足を向けて寝ることはできませんでした。

梅原猛先生とはあの世とこの世に別々に住むことになりましたが、静岡県と富士山への思いは県民に受け継がれていくでしょう。



ふじのくに地球環境史ミュージアム館長
 安田喜憲



富士山を眺望する日本平山頂に並んで設置された石碑。左が梅原猛先生の揮毫によるもの。右は中曽根康弘元総理による「富士山」の揮毫。



梅原猛先生の揮毫による石碑。「草木国土悉皆成仏(そうもくこくどしつかいじょうぶつ) 国土は富士なり」とある。